

(本時のねらい)

- 班で課題に取り組むことを通して, 地形図の読み取りにおいて地図記号や等高線の読み取りが重要であることを理解させる。
- 地形図は身近な地域のものを用いることで明確なイメージを持たせ, 自身が生活する身近な地域に目を向けさせる。

(ICT 活用方法)

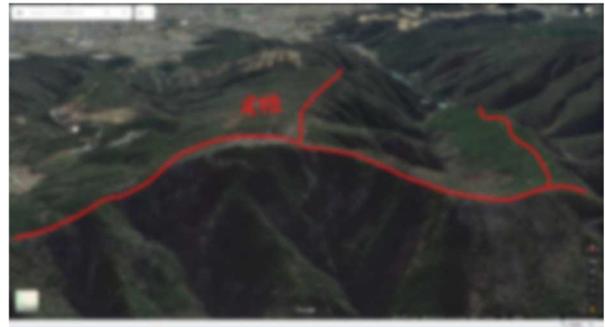
- 授業の要点をまとめたものを提示するため, パワーポイントのスライドを投影する。
- 地形図を自由に拡大・縮小や書き込みをさせるため, PDF 形式に変換した地形図を用いて Microsoft Edge の描写モードを使用する。
- 地形の起伏を鮮明にイメージさせるため, Google map の航空写真+3D 表示モードを使用する。
- 生徒用タブレットを用いることで, 紙媒体の地図よりも直感的に, 自由に地形図を操作することができ, 積極的に課題に取り組ませる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習をし, 本時の流れを確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・前時のスライドをスクリーンに投影する。 	
地形図を通して身近な地域をみてみよう！				
展開1 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号について説明を受ける。 ・3人組になり学校東側の地形図を用いて, ワークシートの作業と問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・由来等にも言及しつつ簡潔に説明する。 ・操作方法について適宜指導する。 ・進捗に合わせて適宜全体に向けて解説を行う。 ・早い班には, 教師用タブレットで発 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号についてまとめたスライドを投影する。 ・班に1台タブレットを配布する。地形図を自由に拡大・縮小し, 書き込みができるよう, 地形図はPDF形式・ブラウザはMicrosoft Edgeを使用。 	



【資料 2】 投影した地形図



【資料 3】 投影した Google map の航空写真

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

従来は紙媒体の地形図を各々に配布し，個人で課題に取り組ませているが，班でタブレットを使わせることで，従来よりも課題に対して積極的に取り組ませることができた。失敗しても何度も書き直すことができる点がよかった。しかし，google map を使用する際，タブレットの処理速度が非常に遅く，航空写真のダウンロードが遅く，授業がスムーズに進行しなかった。

今後の展望としては，単元「村落と都市」において，より発展的な内容として上記の ICT 機器が活用可能だと考える。国土地理院の HP に各自でアクセスし，地形図や航空写真の新旧比較を通して，自分たちの住む地域がどのような変遷をたどってきたのか，またそれはなぜなのかについて探究していくような授業を構想していきたい。